

「くじらのおなら」著者松村さん 絵本120冊を府に寄贈



絵本を寄贈し、西協知事から感謝状を受け取った松村さん(中央)と村上さん(左)
—京都市上京区・府庁

建築設計会社社長の松村正希さん(72) ㊦宇治市㊦が、自身が著した絵本「くじらのおなら」(京都新聞出版センター刊)を京都府内の子どもたちに読んでもらおうと、17日に府へ120冊を寄贈した。

絵本はくじらが巨大なおならで空を飛び、ごみで汚れた海や山を見ながら地

球環境について考える様子を描いた。国立環境研究所資源循環・廃棄物研究センターのアドバイザーを受け、京都産業大の学生らとストーリーを考案。愛くるしい絵は手作り絵本作家の村上祐喜子さんと漫画家の毛利泰房絵さんが手掛けた。

この日、松村さんは村上

さんとともに京都市上京区の府庁を訪れ、絵本を西協隆俊知事に手渡した。松村さんはコロナ禍を踏まえ「しんどい子どもたちもたくさんいると思う。絵本で笑顔になって、一歩前に進んでくれたらうれしい」と話した。

寄贈した絵本は年内に障害児入所施設や児童養護施設などに配布される。

(本好治史)